

水島港津波対応基本指針

[大・中型船舶]

1 人命の安全確保

人命優先

時間的余裕のある範囲で
最低限必要な措置

2 情報の入手及び伝達

津波注意報・警報の入手

伝達系統



関係機関内外・関係船舶

迅速・的確な情報伝達

3 避難準備

在泊中の船舶

震度4以上の地震発生

津波注意報・警報の発令

津波警報

荷役中止・避難準備

港外退避

4 避難経路

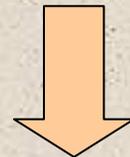
在泊船舶・入出港船舶

原則、水島港津波対応計画に定める**避難経路**に従って**避難海域方面**に向かう。

5 出港順序

原則

出港準備の整った船舶から
順次出港



二次災害の防止

優先

旅客船
危険物積載船である大型船舶
水先人を必要とする大型船舶

水島港津波対応計画

[大・中型船舶]

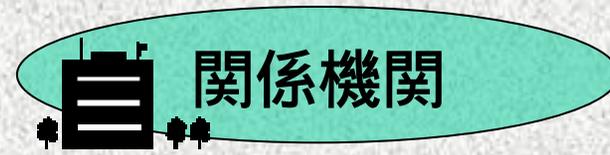
1 目的

水島港に津波の来襲が予想される場合



在泊(錨泊)船舶、入出
港船舶

在泊船舶等がとるべき対応



関係行政機関、係留施設の管理者、船舶運航関係者等

在泊船舶等に対してとるべき対応

迅速な人命、財産の保護及び船舶交通の安全確保

津波による災害を局限

2 定義

大・中型船舶

大型船舶



水先人又はタグボート等の補助を必要とする程度の船舶

中型船舶



小型船舶



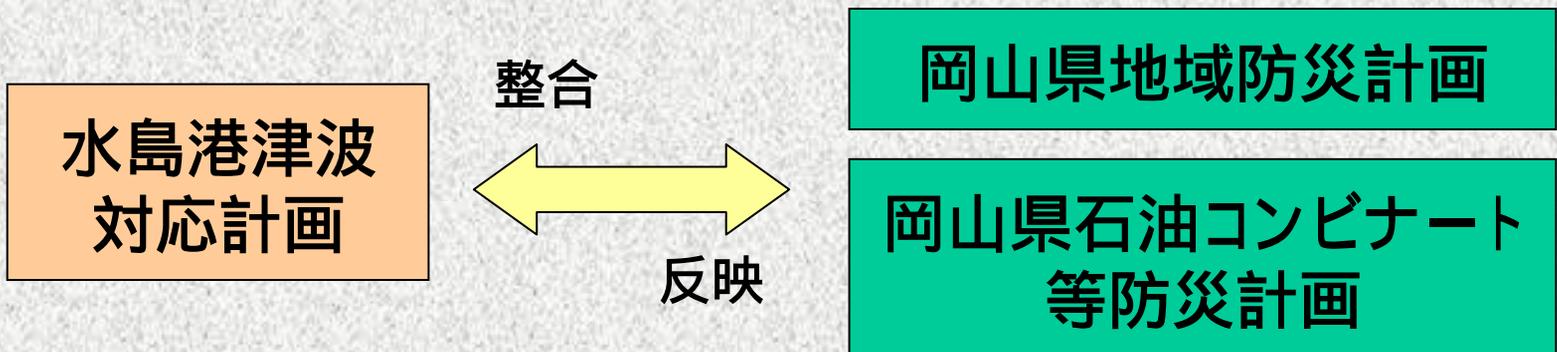
陸揚げ固縛が可能な程度の小型漁船、プレジャーボート等

喫水制限船

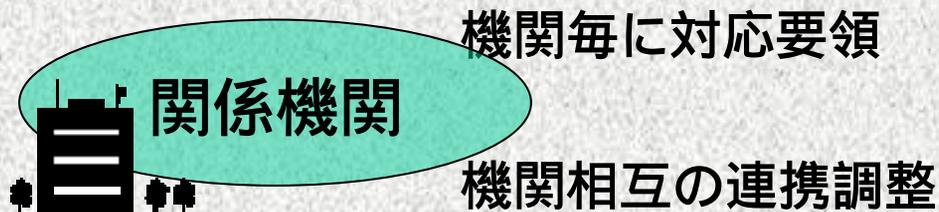
船舶の喫水と水深の関係によりその進路から離れることが著しく制限されている動力船

3 各機関の役割分担

(1) 地域防災計画等との整合性



(2) 関係機関の役割分担



- ・ 迅速な情報伝達
- ・ 船舶避難措置の際の機関間の協力
- ・ 避難秩序の維持、交通整理

4 人命の安全確保

人命の安全確保を第一

倉敷市長指定



徒歩での所要
時間調査

自衛防災組織等
の構成員用

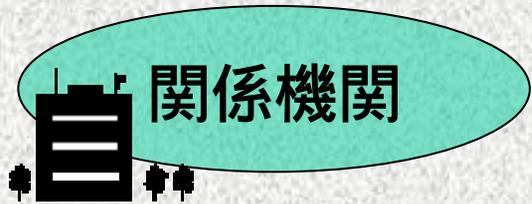
5 情報の入手及び伝達

迅速・的確な情報伝達が重要

水島港台風情報等伝達系統

- (1) 情報の入手
- (2) 情報の周知
- (3) 情報伝達系統の確保
- (4) 機関内部の情報伝達
- (5) 情報の共有化

(1) 情報の入手



地震による揺れ



津波注意報等発令の有無を確認



国際VHFの聴守

(2) 情報の周知



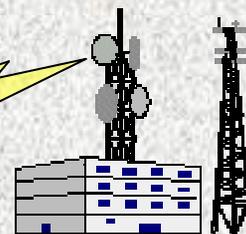
水島海上保安部

津波注意報等発令・被害予想



巡回・周知

航行警報
安全通報



関係行政機関

あらかじめ機関毎に定めた有効な手段を駆使し情報の周知

電話回線不通

水島港台風情報等伝達系統



水島海上保安部

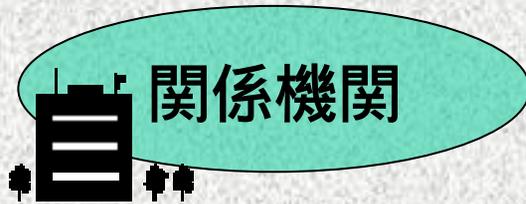


防災無線

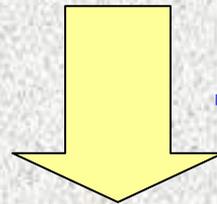


一斉通報により情報周知

(3) 情報伝達システムの確保



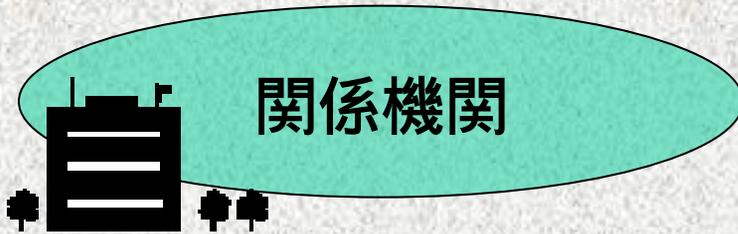
非常時に専用使用する電話回線を
最低1回線以上**指定**



電話回線不通への対応

防災無線の**確保に努める**

(4) 機関内部の情報伝達



機関内部

指揮系統

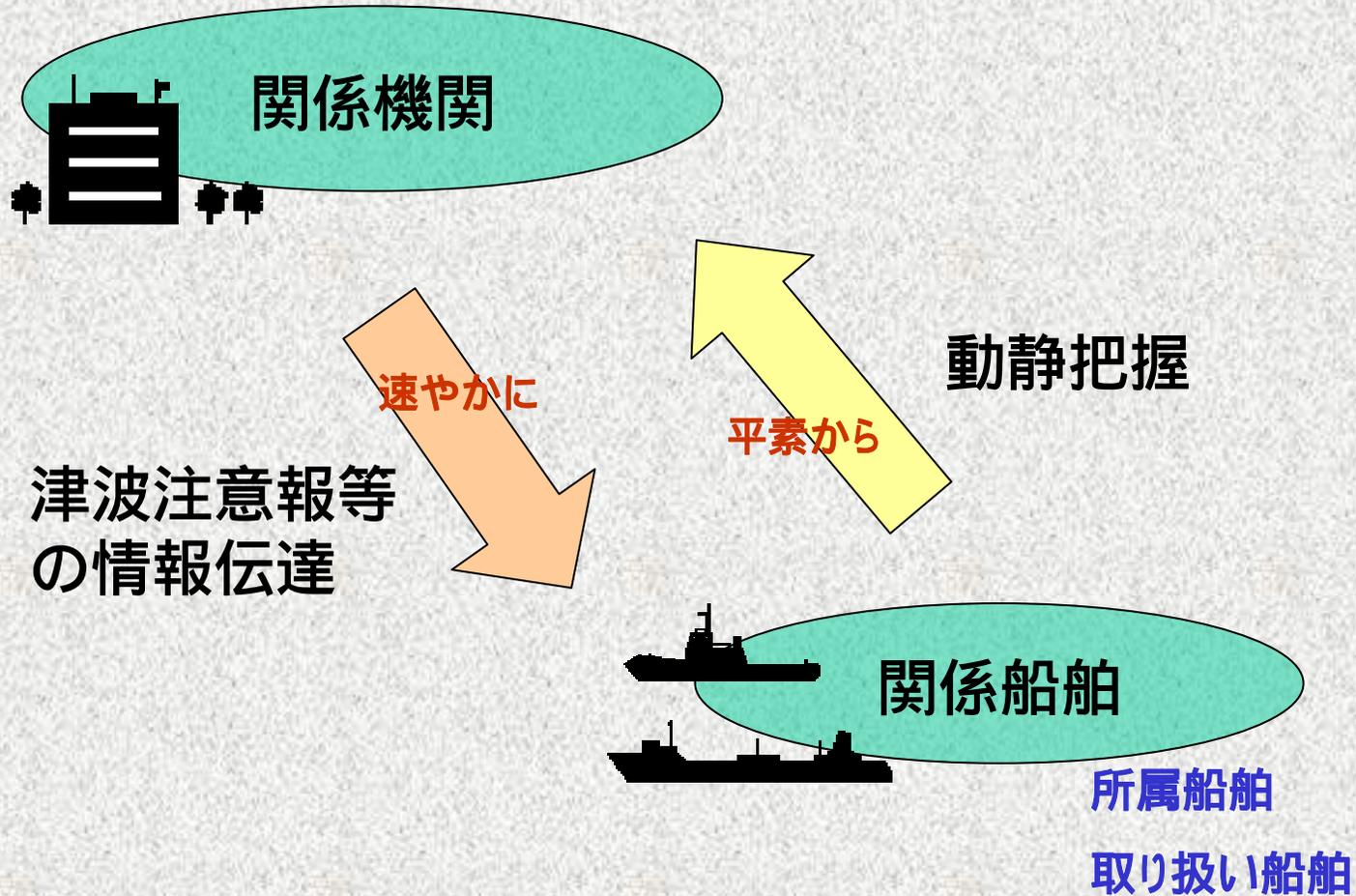
确实・効果的な情報伝達系統



明確化

速やかな情報の伝達

(5) 情報の共有化

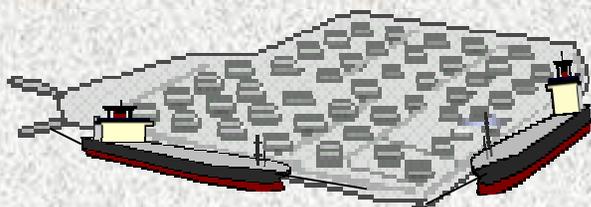


6 避難準備

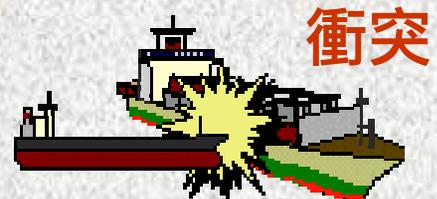
津波注意報等が発令された場合の対応

- (1) 基本事項
- (2) 特例
- (3) 荷役の中止
- (4) 水先人等の手配
- (5) 港外退避船舶への協力
- (6) 入港予定船舶への指示
- (7) 港内の安全確保

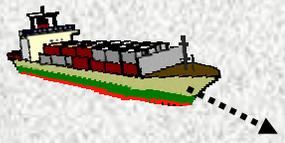
(1) 基本事項



係留索切断



衝突



走錨



乗揚げ

水位変動・流圧

津波注意報

港外退避 望ましい

津波警報

港外退避 基本

(2) 特例

地震発生後の岸壁損傷等で係留施設が使用に適さなくなった場合

係留施設、係船設備の損傷(安全な係留不可の場合)
荷役施設の損傷(荷役不可の場合)
陸上への津波の遡上(安全な係留不可の恐れがある場合)

呼松水路内に係留中の場合

流圧力が大きく安全な係留に適さない

津波注意報

原則 港外退避

(3) 荷役の中止

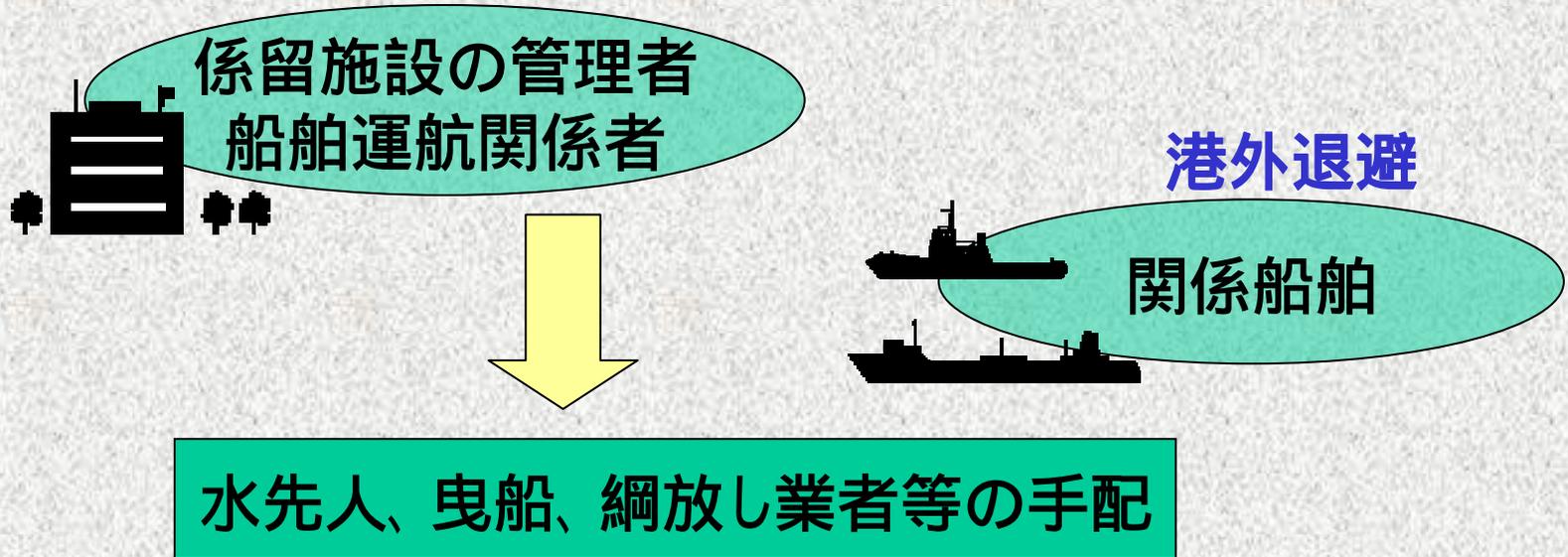


震度4以上の地震発生

津波注意報・警報の発令

荷役中止・避難準備

(4) 水先人等の手配



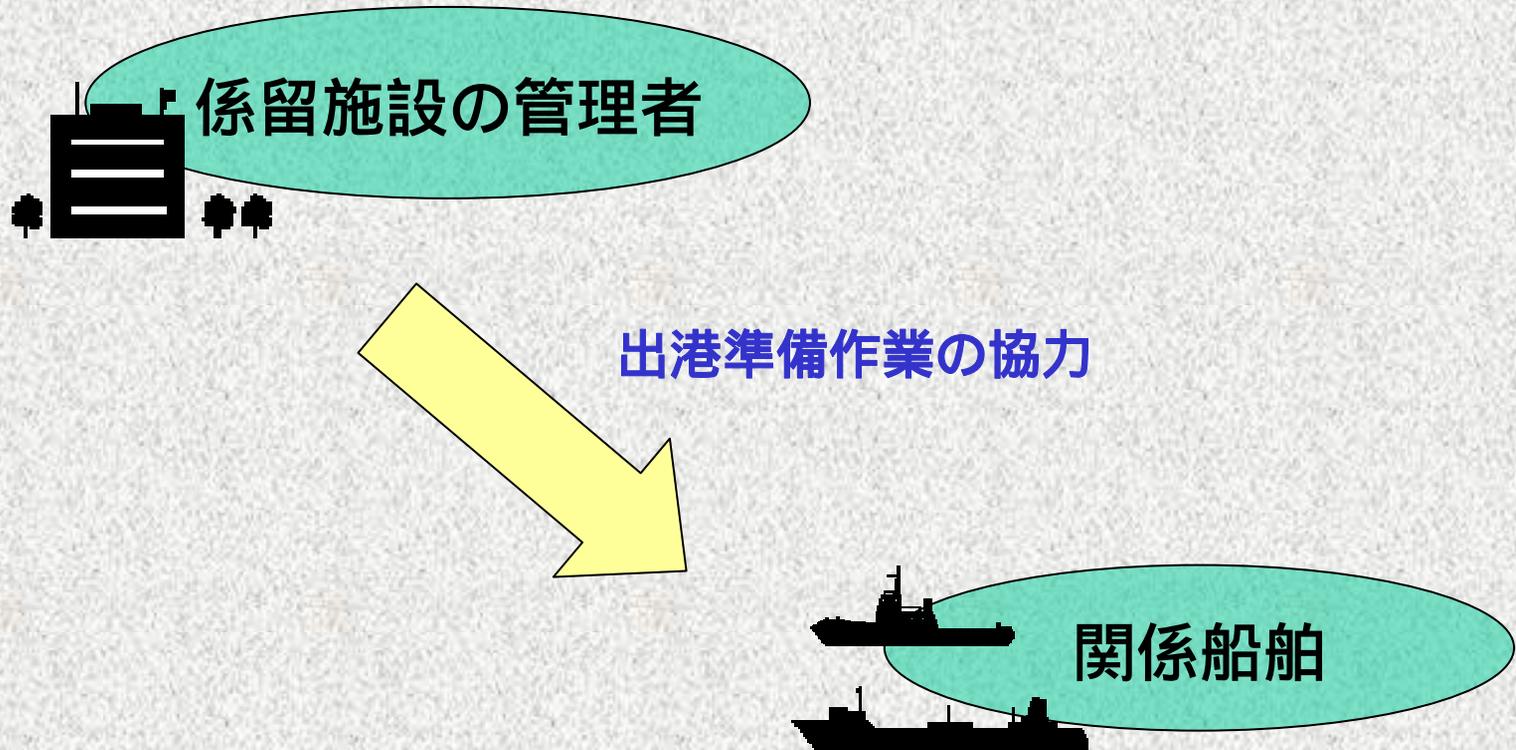
水先人は危険物積載船である大型船舶に優先して乗船

通信系統の寸断

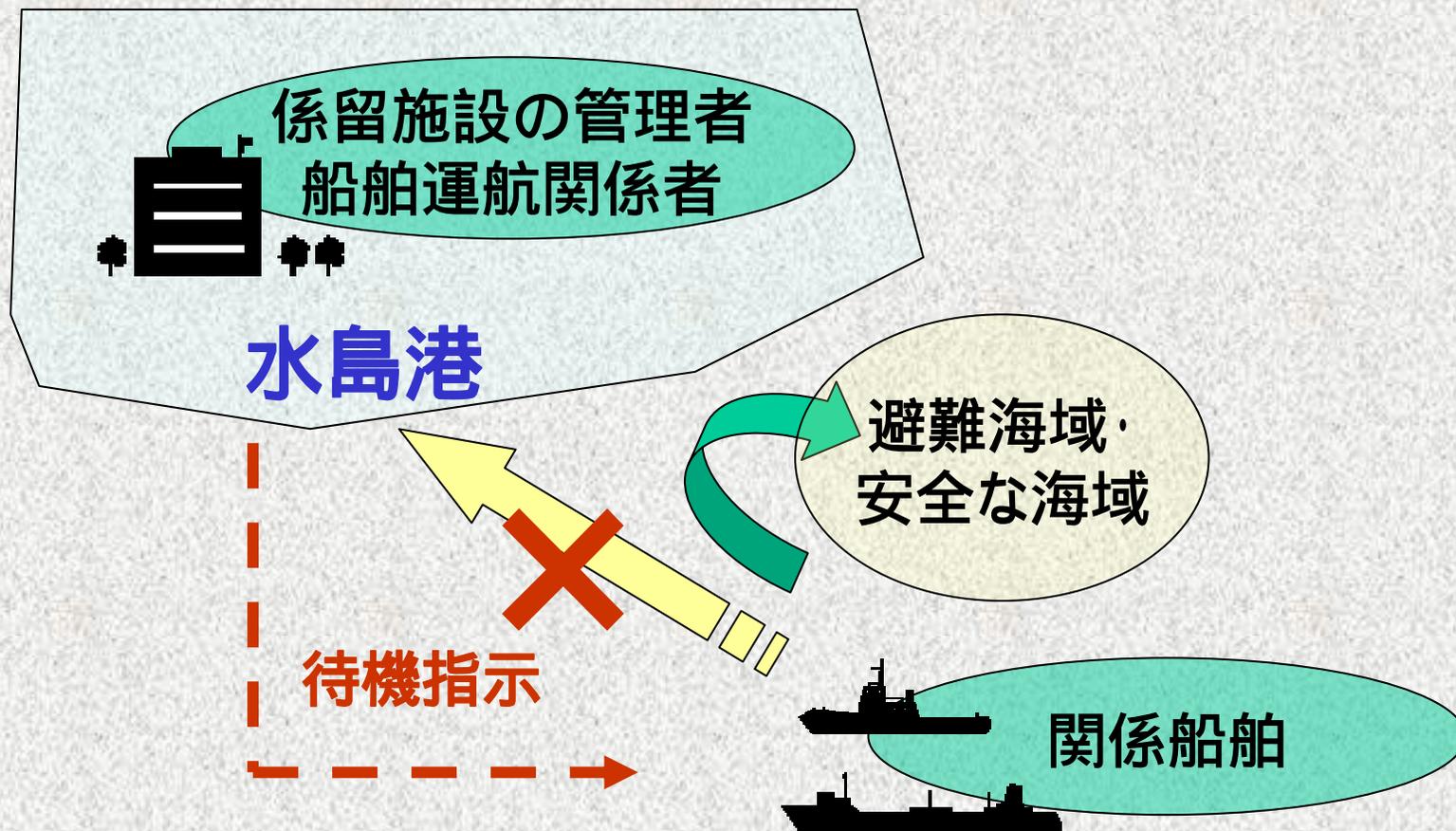
水先人は水島海上保安部に参集

曳船は出港準備の整ったものから順次危険物積載船である大型船舶付近に参集

(5) 港外退避船舶への協力



(6) 入港予定船舶への指示



(7) 港内の安全確保

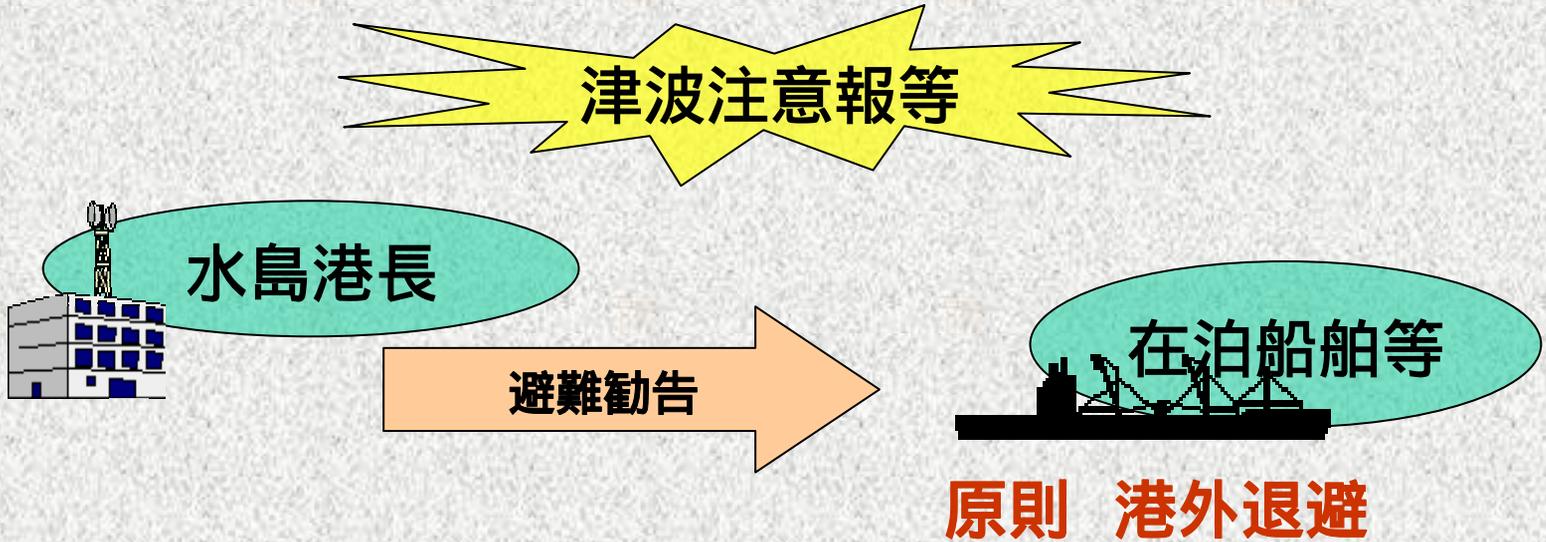


水島海上保安部



交通整理・航法指導

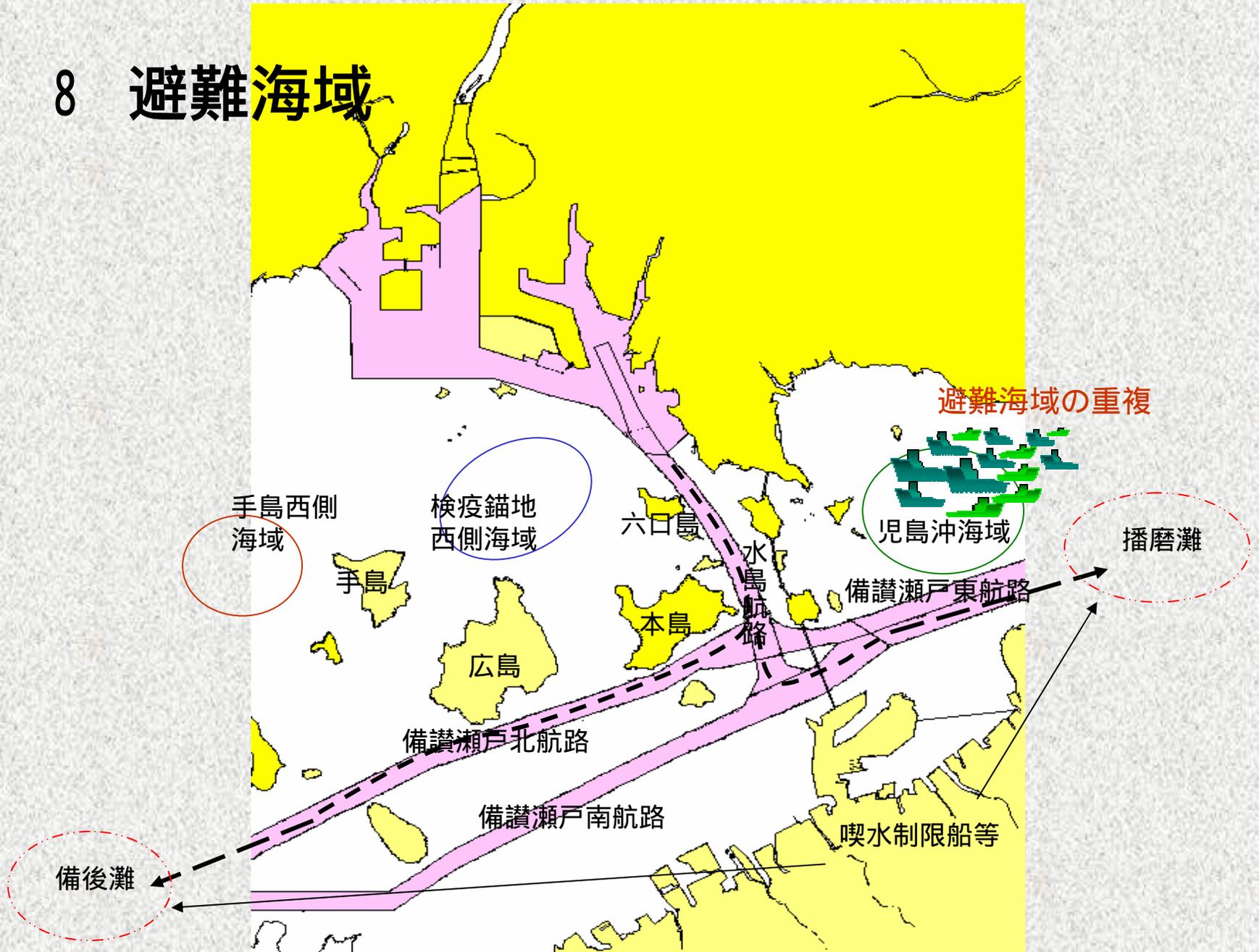
7 避難勧告



避難勧告を待たずに避難する場合

本対応計画に沿った避難

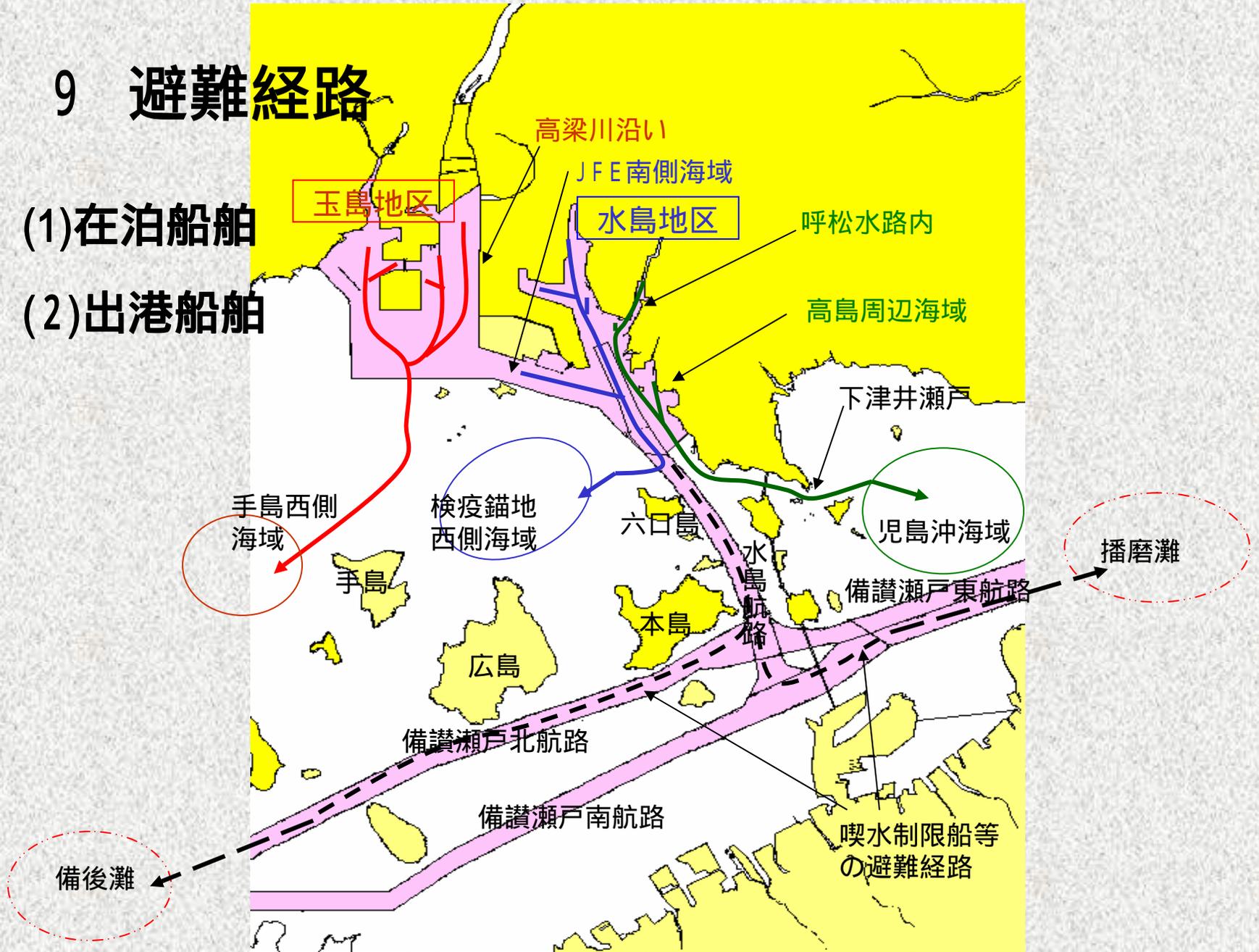
8 避難海域



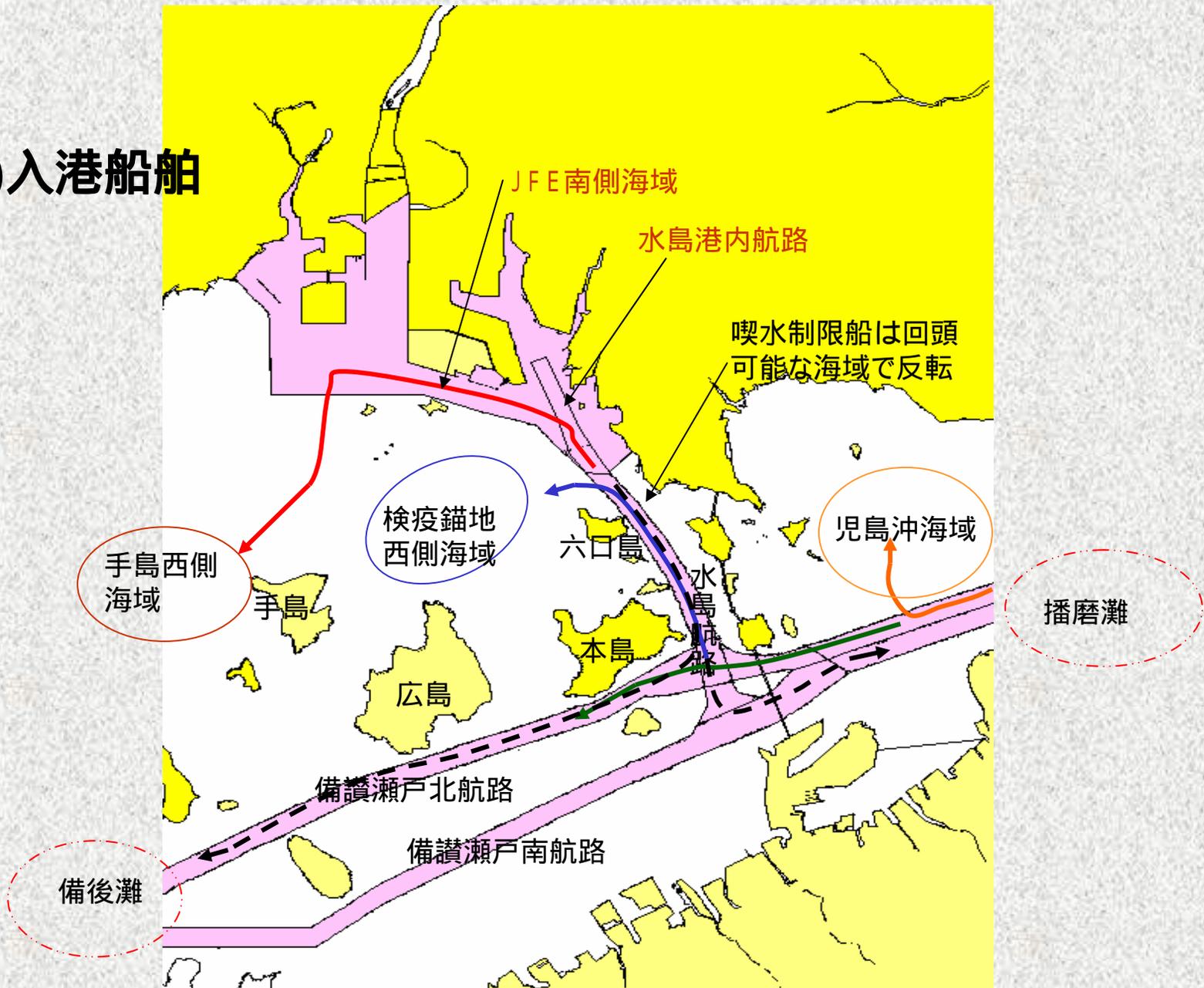
9 避難経路

(1) 在泊船舶

(2) 出港船舶



(3)入港船舶



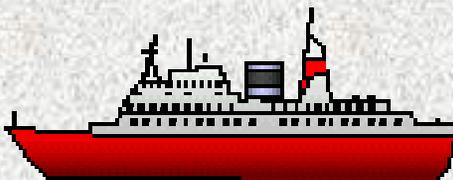
10 出港順序

原則

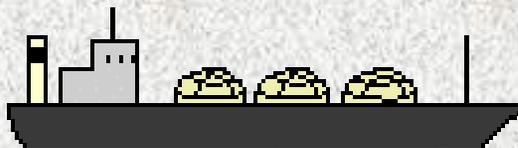
出港準備の整った船舶から
順次出港

優先

二次災害の防止



旅客船



危険物積載船で
ある大型船舶



水先人を必要と
する大型船舶

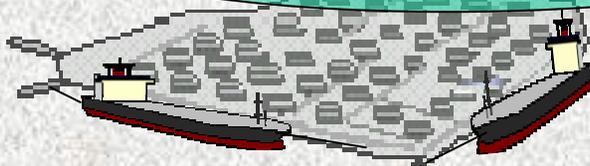
11 緊急措置

止むを得ない場合

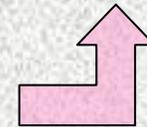
どうしようもない
場合のみ

船舶、岸壁の被害は必至

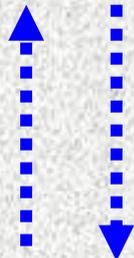
岸壁係留中の船舶



可能な限りの保安対策
(係留強化など)



協力

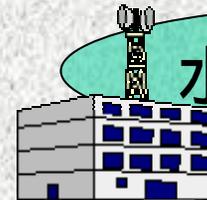


連絡 (船種、船名、総トン数、積荷
の種類、概略の数量、係留施設名)

係留施設の管理者



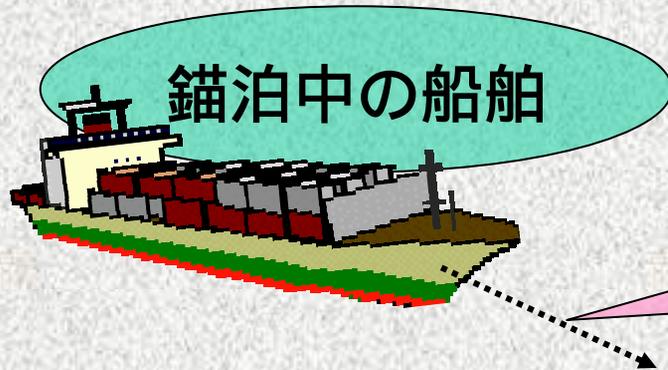
水島海上保安部



連絡



電話回線不通の際には連絡は省略



錨泊中の船舶

揚錨作業中に津波の来襲を受ける可能性がある場合

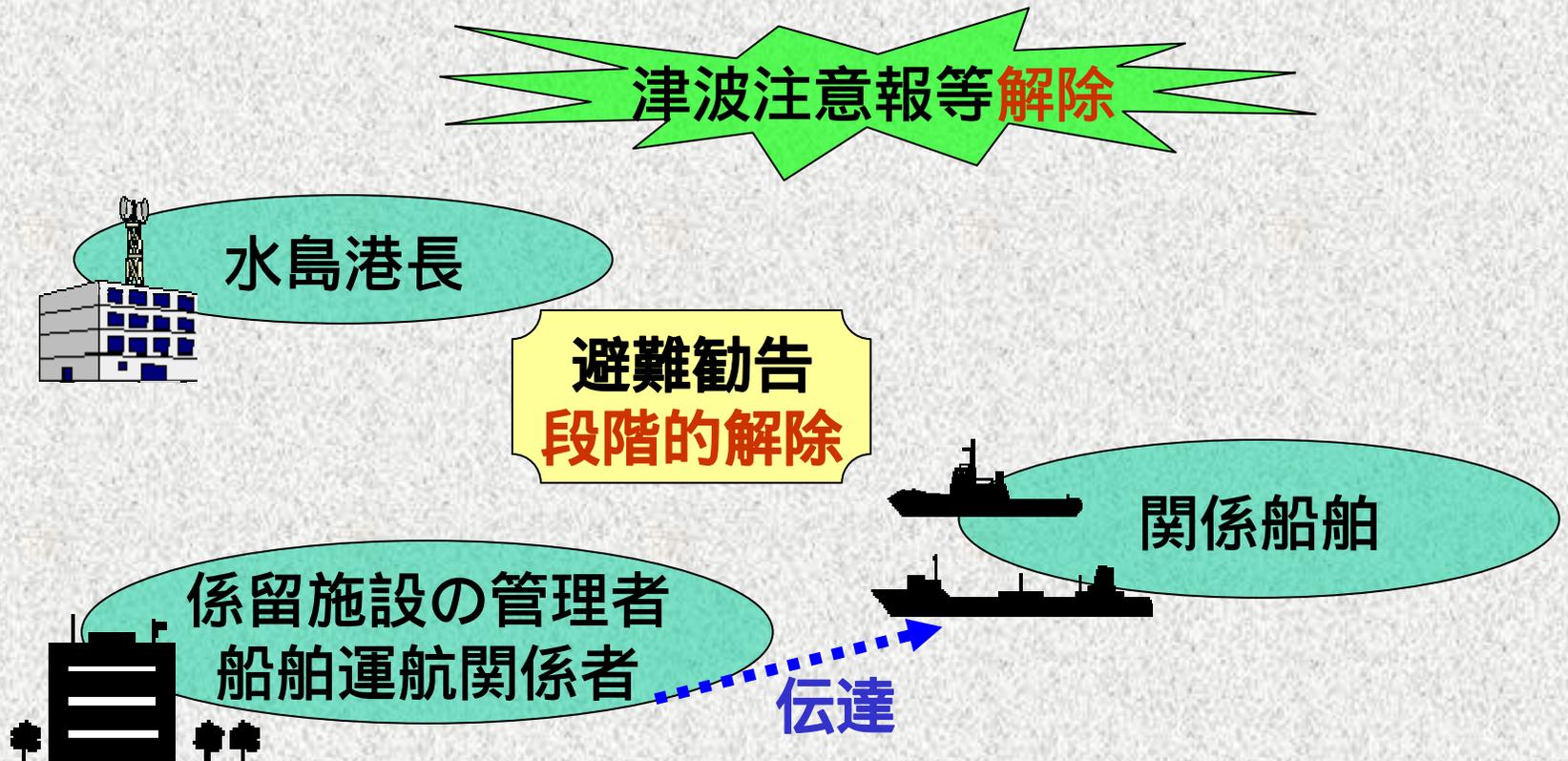
揚錨は却って危険

錨泊した状態で機関を使用して対処

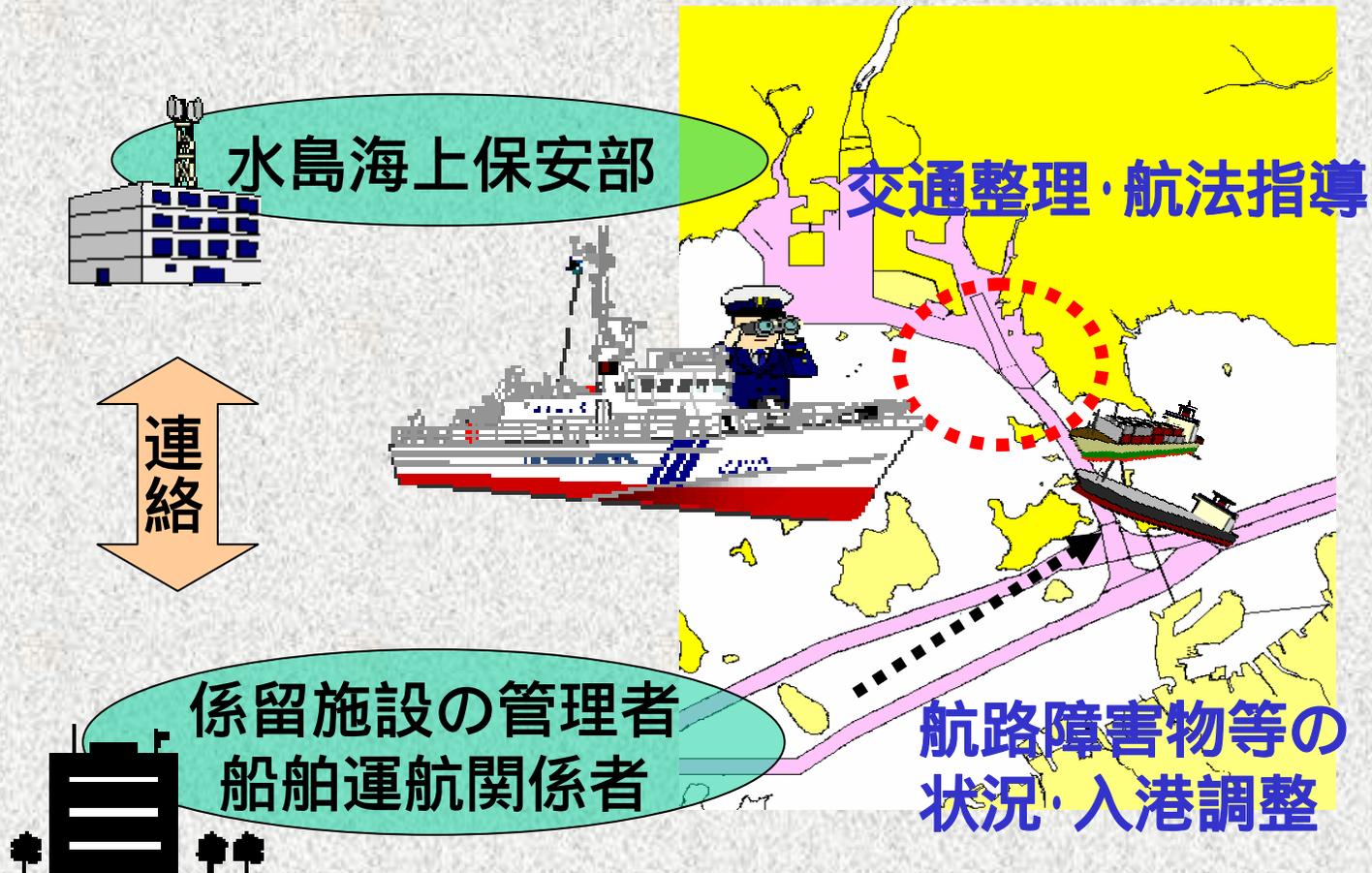
東南海・南海地震津波では時間的余裕あり
直近の地震津波が発生した場合を想定

1 2 避難解除

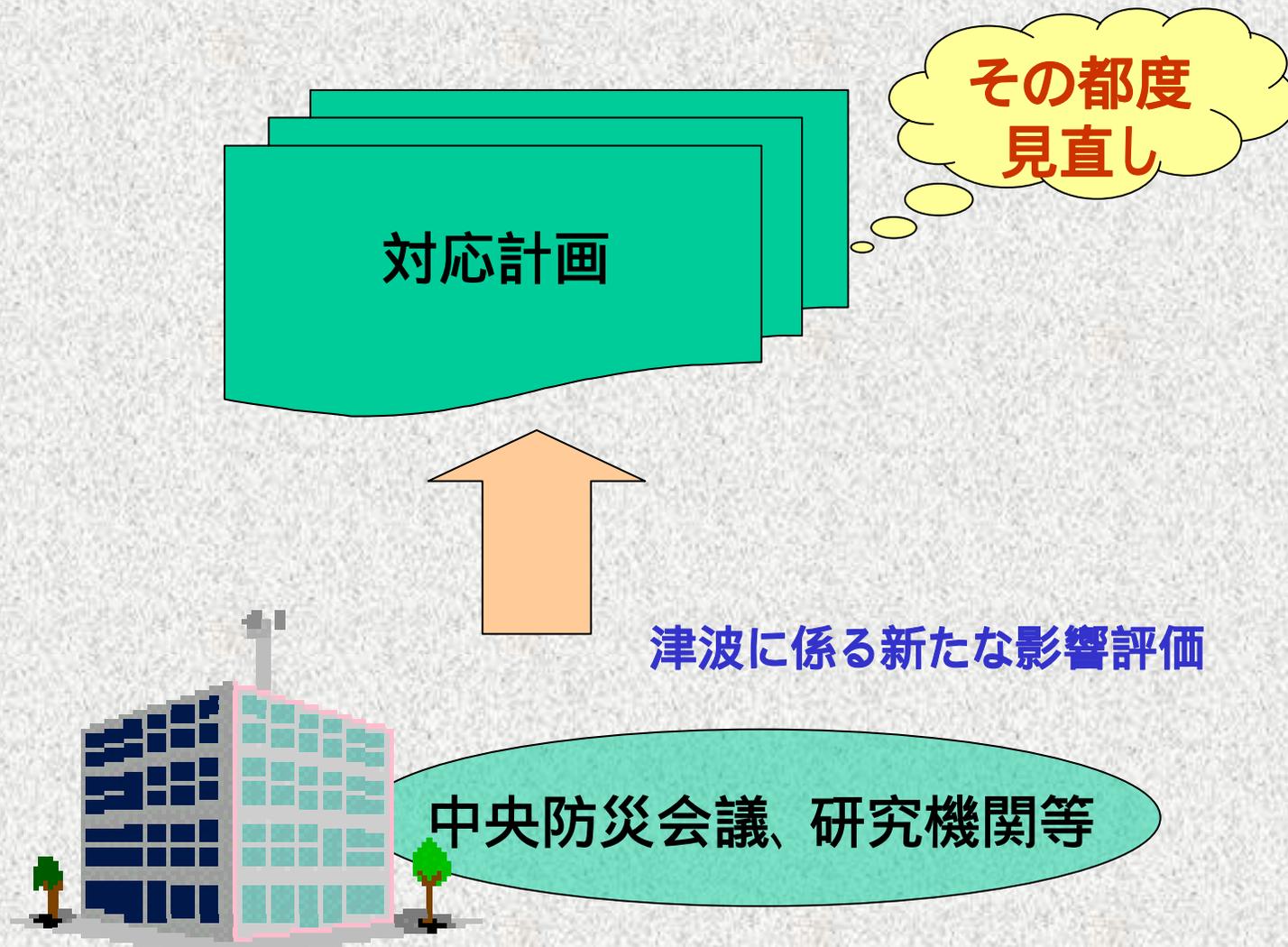
(1) 避難勧告の解除



(2) 再入港の調整



13 対応計画の見直し



おわり

